

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
理科教育法	講義	2	片山 雅男
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b>			
<p>わかりやすい理科の授業を進めるための指導法を学ぶ。</p> <p>理科学習指導のねらいや趣旨をよく理解し、理科がめざす授業づくりができるようになる。特に、児童の実態に即した指導計画の作成や学習指導が行えるようになる。</p>			
<b>【授業の概要】</b>			
<p>小学校の理科教育は、児童が自然に親しみ、目的意識を持って観察・実験を行うことにより、科学的に調べる能力や態度を育て、科学的な見方や考え方を養うことがねらいである。この授業では、小学校理科教育の目標を学ぶとともに、具体的な学習場面を設定しながら基礎的・基本的な指導法について学習する。指導計画や指導案を作成し、模擬授業を行う。講義ならびに適宜アクティブラーニングも行う。</p>			
<b>【全体の授業計画・内容】</b> 講義進行上、講義順・内容の一部が変更されることもある。			
1. 理科教育の現状と課題を把握する			
2. 小学校理科教育で育てたい能力と態度を学ぶ			
3. 小学校理科教育のねらいと内容の把握 (1) エネルギー(物理分野)と粒子(化学分野)			
4. 小学校理科教育のねらいと内容の把握 (2) 生命(生物分野)と地球と宇宙(地学分野)			
5. 実験・観察の進め方とまとめ方			
6. 単元計画の作成法を学ぶ			
7. 教材研究と学習指導の進め方			
8. 指導案の形式と内容を学ぶ			
9. 学習指導案の作成			
10. 教材の作成			
11. 模擬授業(1) グループ①			
12. 模擬授業(2) グループ②			
13. 模擬授業(3) グループ③			
14. 理科における評価の観点と方法			
15. 学習指導の進め方とまとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方: 小学校学習指導要領解説を前もって読むとともに、指導案や教材を考える。			
学習のあり方: 児童を想定して、授業内容を把握し、指導案作成や模擬授業を実施する。			
復習のあり方: プリントで内容について再確認するとともに、疑問点の有無を確認し、あれば次回質問する。			
<b>【成績評価】</b>			
指導案(50%)、発表(30%)、受講態度(20%)等により評価する。			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
指導案や発表に対して、授業中にコメントする。			
<b>【テキスト】</b>			
『小学校学習指導要領解説 理科編』 大日本図書			
『わくわく理科 3』 啓林館			
<b>【参考文献】</b>			
講義の中で紹介する。			